

1 飛騨市の城跡ロゴについて

「飛騨市の城跡」ロゴ コンセプト

飛騨地域内の城跡には2つの大きな要素がある。

一つは、「石」を上手に活用して城や館を作っているという点である。江馬氏館の庭園では庭石に、小島城・古川城・増島城などには石垣に用いられている。この石垣は防御としての機能だけでなく、「見せる」という側面もあったと考えられる。

もう一つは江馬氏・姉小路氏の城館跡から出土する素焼きの「かわらけ」である。室町時代の京の武家文化に則り儀礼や饗応で盛んに使用していた当時の人々の豊かな暮らしぶりが想像できる。

ロゴは、飛騨市の旧4町村の地形をモチーフに石垣の地形を作り上げ、直感的に分かりやすい「飛騨の城跡」を表現した。黒色で強固で簡単には崩れない石垣、歴史に裏付けられた重厚さを表現した。それに「かわらけ」の色彩や円形を取り入れた。土色は江馬氏館の空間である土壁や、ダイナミックな土づくりの山城もイメージしている。また円形は「飛騨の城跡」と冠するように飛騨市内に限らない飛騨地域内の山城や人々との繋がりを意識している。

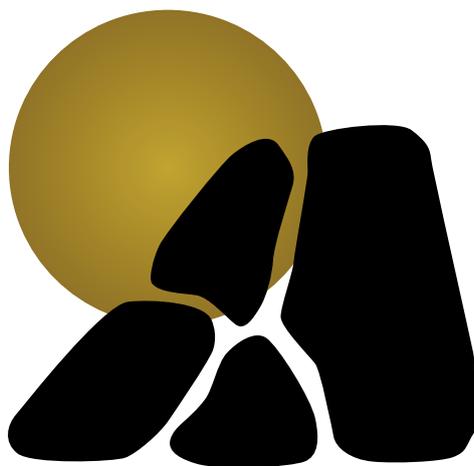
「飛騨市の城跡」ロゴマークの構成

飛騨市の城跡ロゴマークは

①石垣

②かわらけ

の2つの要素から構成される。



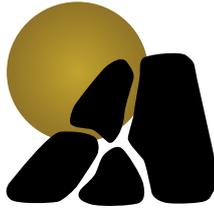
飛騨の城跡

Castle Ruins in Hida

2 飛騨市の城跡ロゴの形状

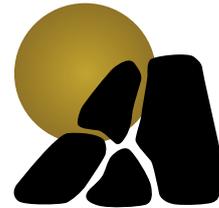
飛騨市の城跡ロゴの形状は次のタイプとし、いずれかの形状とする。 ※色使用におけるパターンは別途記載。

①日本語及び英語表記入りタイプ



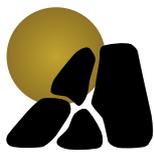
飛騨の城跡
Castle Ruins in Hida

②日本語のみ表記入りタイプ



飛騨の城跡

③日本語及び英語表記入り横並びタイプ

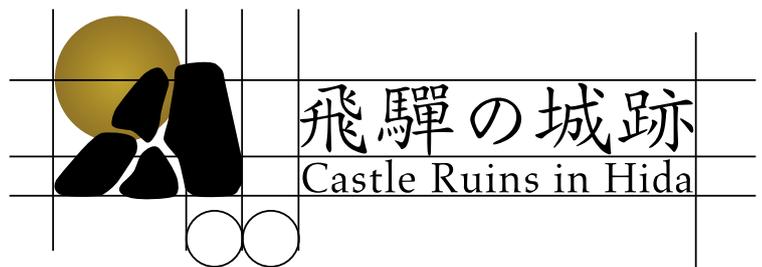


飛騨の城跡
Castle Ruins in Hida

3 位置とバランス



マーク部分と日本語表記の間隔は
円形（かわらけ）部の半径の3分の1とする。
またその間隔の半分を日本語表記と英語表記の
間隔とする。



マークと文字（日本語・英語ともに左端）の間隔は
右の石垣の下部の幅と同間隔とする。

4 カラーパターンおよび字体表記

ロゴのカラーおよび字体表記は下記の様に定める。

カラー

円形グラデーション部分

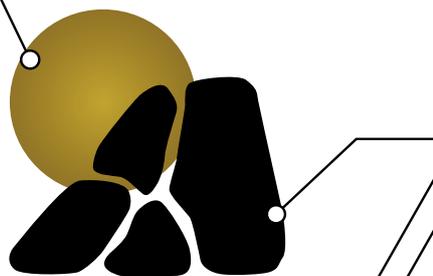


CMYK	RGB
C55%	R127
M55%	G113
Y100%	B51
K5%	Web #7e7032



CMYK	RGB
C30%	R183
M35%	G162
Y90%	B61
K0%	Web #b7a23d

上記2色の均等グラデーション



石垣および文字



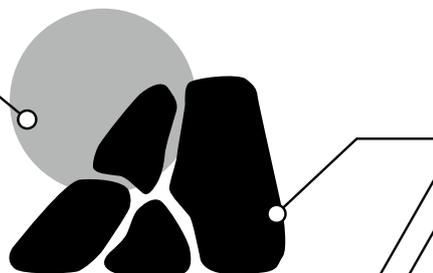
飛驒の城跡

Castle Ruins in Hida

日本語表記は飛驒市役所指定書体『花蓮華L』
英語表記は飛驒市役所指定書体『Aldus Roman』

グレースケール

円形部分



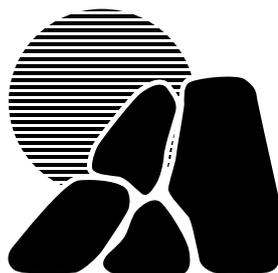
石垣および文字



飛驒の城跡

Castle Ruins in Hida

モノクロ



飛驒の城跡

Castle Ruins in Hida